



DAMANHUR

ダマヌール日本ニュースレター

ぽぽろ



POPOLO

初夏号

《 第41 初夏号 》

発行 ダマヌール日本

発行日 2017年6月1日

<http://www.damanhur.jp>

ダマヌールのコミュニティー



～ 人生の豊かさは、人間が交流してお互いの違いを賞賛できる関係から生まれる ～

対面のコミュニケーションの大切さ

現代はソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の利用により、パソコンやスマートフォンを使っての交流は子どもから大人まで盛んに行われています。特に若年層には対面で行うコミュニケーションよりも、手軽で瞬時に短い言葉や絵文字でやり取りできるライン等が好まれているようです。便利な半面、頻繁なメッセージ交換でいつも友人や知人と繋がっているかのような錯覚に陥りやすく、スマートフォンを絶えずチェックするという依存状態は社会問題となりつつあります。

本来、人を成長に導く、より良い豊かな人間関係とは、実際に相手の顔を見て考えを伝え、自分の言葉が誤解なく伝わったかどうかを確認しながら、異なった意見も理解し、お互いを深く知りあい、助け合っていく関係ではないでしょうか。

また、対面で伝えられるメッセージは、言葉によるもの35%、非言語によるものが65%とされています。対面での会話は、五感を通して行われ、話し手の表情、声のトーン、視線、ジェスチャー、うなづき、感情のこもり方などで相手の状況を理解するのに役立ち、同時にエネルギーの交流も行われています。私たちのエネルギーの体であるオーラには感情が現れていて、

その波長を通して交流することで言葉以上の理解や共感をもたらします。かつての精神性の高かった時代の人間は、オーラを介してコミュニケーションするための「皮膚の感覚」とよばれる外感覚を使っていましたが、現代人はこの感覚をほとんど使えないのです。ですから、その感覚を取り戻す実用的な訓練が必要です。

違いを賞賛する

ダマヌールのコミュニティーは、24時間を通して同じ人生の目的を共有し、深い人間関係を築いていきます。基本となる考え方は、個々の違いを賞賛することです。人はそれぞれに個性や特性を持ち、他の人にはない素晴らしい質があり、宇宙で唯一の貴重な存在です。その人にしかない良い質を賞賛して伸ばし、多くの人のために、全体のために役立てます。

違いを豊かさとして捉えることは、人との違いを排除するのではなく、一人ひとりのアイデンティティを認めて尊厳を守ることであり、多様性の社会を受容することだといえます。また、同じ体験をしても他の人と感じ方が違うことは多く、体験を共有することにより、他の人にはどんな感情が生まれたのかなど、自分にはないものを受け取ることができます。

ダマヌールのコミュニティー創立、人類の神殿、数々の芸術作品、自足の新鮮な食べ物、森の再生、精神的な探求、地域への貢献などは、この地球という物質の世界において、自分たちの頭の中にあったイメージを立案し、協力し合い、自分たちの手を使って行動することにより実現してきました。アイデアを物質の世界で具現化する過程で込められた集団の思いは、物質の中の生きたエネルギーとなり、そのエネルギーが私たちのオーラや内面的な部分と交流して、私たちの精神的な滋養になります。これは、ホリスティックな存在である人間の精神的な部分の発達には不可欠なものです。物質偏重の現代社会の中では、こういったことへの理解がありません。けれど、色や芸術という要素が、私たちの気持ちや精神的バランスをとることに影響があるということだけを見ても、波長や波動といった微妙な要素が私たちがよく生きることにつながることは明らかです。ダマヌールは物質的な側面だけでなく、ホリスティックな存在としての人間がより良く生きるための生活環境を考慮した社会を実現しているからこそ、国連からも認められた永続可能な社会モデルとなっているのです。



ダマヌールのコミュニティー

ダマヌールの一つひとつのコミュニティーは、平均して20人ほどの血縁関係を越えた老若男女が大きな家で共同生活をしています。全員がコミュニティー内外で仕事を持ち、経済的にも精神的にも自立しています。各自はプライベートな部屋を持ちますが、談話室やキッチンや食堂は大きくとって共有の場所として使用します。こういった構造によって、家族のように暮らす仲間と言葉を頻繁に交わし、一人で閉じこもることのないような生活スタイルを実現しています。

特に夕食はできるだけみんなが揃って一緒に食べます。ダマヌールのテリトリーで生産される新鮮な肉や野菜には豊かな生命力が宿っています。また、単に食べ物からの滋養だけでなく、美味しい食事を共に食べる幸せを感じながら、会話をすることにより、各自が持つエネルギーはオーラを介してみんなと交流しているのです。

ダマヌールの市民は、どんな環境で育ったか、どんな仕事をしているのかはさまざまですが、それぞれのコミュニティーにはプロジェクトがあり、その夢を実現したいという個人の意志によってグループが形成さ

れています。夫婦であっても同じプロジェクトに共鳴して選択するとは限らず、別々のコミュニティーに所属することもあります。ダマヌールは、惰性や習慣化を排除し、年齢に関係なく、ワクワク、ドキドキしながら、老若男女が協力して大きな夢を実現する生き方を大切にしている、それこそが年を取らない秘訣といえます。

サポートできる豊かな関係

例えばコミュニティー内で問題があれば、全員で話し合い解決を見出します。そして、誰にアドバイスを求めたら良いか、誰が専門的知識を持っているかなども情報交換します。寝食を共にして毎日顔を合わせているので、問題を共有していれば、悩んでいる本人はみんなの理解や受容が得られるので孤立することはありません。

例えば、グループの中で介護が必要な仲間がいたら、介護の問題も血縁関係を越えた精神的な家族として、みんなが責任を持って関わるのが前提です。特定の人だけに負担がいかないように、みんなで話し合っただけで可能な限り適切に分担して支え合います。もし、一つのコミュニティーで解決できなければ、他のコミュニティーに情報提供や協力を求めるので、問題への早期対策や良い変化が生まれます。

また、子どもの教育は、24時間を通して学校とコミュニティーが密接に連携して、個性を伸ばしていきます。同じコミュニティーで暮らす大人は、子どもたちにとってはおじやお婆のような存在です。なぜなら、一人ひとりの子どもの個性や興味を最大限に伸ばすために必要な教育や躰について、各子どものプログラムを、6ヶ月ごとに両親とコミュニティーのみんなが参加して熱心に話し合っただけでなく、学校とも連絡を取り合います。子どもたちが学校から戻ったときに家に親がいなくても、必ずコミュニティーの留守番や家事を担当する当番の大人がいて、子どもと遊んだり、宿題を見てあげることはごく普通なのです。コミュニティーの全員が子どもたちの性格や特徴や好みや課題を良く知って、一貫したサポートを行います。ですから、子どもは親だけに求めることはなく、満たされない、何か足りないと不幸に思う子どもはいませんし、満たされないところから腹いせでするいじめもありません。



変わり続けること

自分では気付かない長所や短所は、共同生活をするコミュニティの仲間がいてこそ明らかになります。自分では思ってもみなかった長所を指摘されて驚いたり、何も感じていなかったことを短所として指摘されることもあり、個人的な確信や真実は曖昧なものであることを知らされます。個人の欠点を改善し長所を伸ばして成長を実現するために、ダマヌールでは「テクナルカート」という社会構造があります。各自が精神的な成長を遂げるための変容を実現することを目指し、3～6ヶ月の間に具体的に達成する目標を明確にして、個人のプログラムを実践していきます。その過程で、コミュニティの仲間からのアドバイスや評価も得ます。

なぜ自分を変える必要があるのでしょうか？ダマヌールは地球上で75,000年続いた秘教の道の知識を現代に受け継いだメディテーションの学校を基礎として形成された社会であり、各市民が秘教的な知識の道歩くイニシエートです。メディテーションの学校で得た知識や原理をもとに、各自が24時間を通じてさまざまな角度から検証や実験を行いながら、自分を変容させ、知識を身につけていくことに取り組みます。その前提は、私たち一人ひとりに宇宙の創造主である神のカケラが宿っていて、そこには宇宙の全てが詰まっているというものです。各自はその内面の神の意識を覚醒するために、自分を変容させながら、その意識に常に近づいていくことを目指します。そのために、共通の夢を持つコミュニティの仲間と共に学び、行動して、お互いの違いを賞賛し、共感ができ、相互にサポートし合える人間関係を築きながら、その中で各自のエゴや自己中心的な考えを排除することで、より広がりのある調和的な自覚を形成していきます。こういった自分を変える作業は仲間とのシェアなしにはできないのです。

一方で、ダマヌールの人たちが聖人であるとはいえません。なぜなら現段階では、多かれ少なかれみんなが変容の過程の途中だからです。コミュニティ内で、時には個性のぶつかり合いや激しい議論もありますが、優先するプロジェクトの実現という共通の目標や望みがあるため、自己コントロールによる協力が必要で、反目する感情がいつまでも続くことはありません。

また、人生をゲームと捉えて深刻にならず変化を生み出すために、「ゲームオブライフ」という社会構造は大きな役割を担っています。かつて、社会全体で刷新が必要なときは、グループで森に入り、サバイバル体験を通じて、お互いの理解を深めました。お互いに裸の自分をさらけ出して話し合い、グループの深い理解と結束ができるまでは森から出ることができませんでした。いつも辛口で真実をズバリと言って嫌われていた人が、実は深い思いやりを持っていたことを発見するなど得難い体験もあるのです。このように、ダマヌールでは変わり続けるために、さまざまな方法が用いられています。



豊かな人生のために

もし、あなたがコミュニティで暮らすことに不自由さを感じるなら、愛と束縛を勘違いしているのかもしれませんが。ダマヌールでは、個々が物質的にも精神的にも自立した自由な個人の実現を目指します。自由な人間とは、自分と同様に他の人にも望みがあることを理解し、自分の欲求や執着をセルフコントロールして、多様な共存のために調和的な適応を優先することができ、自分の中にある全ての可能性を実現するために不可欠な知識を堅実に学び続け、それが自己の質となるために必要な訓練を堅実に行うことで、束縛や幻想から解放された個人を意味します。

それを実現するためには、共通の夢と目的を持つ仲間と、コミュニティの中で24時間を通じて共同生活を行いながら、短所も長所も分かり合える人間関係を築いて切磋琢磨していくことが役立つのです。魂の兄弟と言える友情を育むことが、同時に自分の内面のさまざまな部分への理解と愛情を深めていくことにつながります。友情は、その人自身全体を受け止めて愛おしく思える精神的な愛です。魂の財産として刻まれる友情は、次の生まれ変わりにも持っていける付加価値となります。

人生の豊かさは、物質的なお金や地位や名声ではなく、人生のさまざまな体験から得られる多くの学びや感情といった要素であり、密接な人間関係の中で時間をかけて育まれ、愛で繋がり、命の多様性を謳歌することといえるでしょう。

私たちは同じ人間という種で、魂の起源は同じです。そして、私たちの価値観や生き方によって人類の未来は変わります。現況の自然災害の多発、悲惨な事件、たくさんの絶滅危惧種、幸せや平和を顧みない施策等を思うと、私たちが人生を体験する美しい地球というフィールドが、永続可能であるように願ってやみません。

世界を変えるにはまず自分から。あなたも一緒にコミュニティの夢を実現してみませんか？

木の活性化

身近にある「静かな」存在“植物”。その存在は人間以上に古いものです。人間と交流しやすい植物の代表でもある樹木は、樹木同士でインターネットのように根で繋がり、個としての意識と集合意識を同時に持つことができます。古来より、古い巨木は神々の次元と繋がり、神が宿るとされ、神社では神木として大切に保護されてきました。かつて調和のとれていた時代には、樹木と人間がお互いの精神的成長のために共同していました。ダマヌールではこのような関係を取り戻すべく、植物と人間の世界に調和をもたらす、木の意識の活性化プロジェクトを世界中で進めています。

古木をめぐる

— 植物の世界と木の意識の活性化 —

植物にも意識があるという話は、植物が奏でる音楽や、ダマヌールの植物の神殿などこれまでにたびたびご紹介してきました。植物は私たちが知っている以上に繊細で高度な意識や情報の伝達方法を持っているといわれます。

その植物の意識をつなぎ、集中させて地球上に大きなネットワークを構築するようなダマヌールのプロジェクトが「木の意識の活性化」です。植物の代表として、樹木の微妙なエネルギーを活性化して集約する活動がダマヌールの人々によって世界で行われています。

日本国内では各地でダマヌール日本のメンバーにより活性化の作業が進められています。木はタネから芽を出して成長し、地面に根を張り、空中に枝を広げます。移動こそしませんが、植物の意識は微妙なエネルギーによって相互に伝達されて波及していきます。

活性化にはダマヌールのテクノロジーで「セルフ」と呼ばれる宇宙の叡智を宿したオブジェクトを用います。エネルギーを仲介する人間は、挨拶をするように木に注意を向けて、コンタクトします。自然と植物の世界への敬意と親愛な気持ちを込めて。

筆者の体験では、不思議なことですが、活性化を行った場所は、間もなく人の手が入って樹木の育成環境が整えられるということが何度もありました。現在までに国内で活性化を行った樹木は約18万本に及んでいます。

木とのコンタクトで特別なものは「古木」です。



花の木公園 ハナノキ 樹齢400年



多賀大社 スギ 樹齢400年以上

樹木には人間の寿命の何倍、何十倍もの時間を生き続けるものもいます。想像してみてください。どれだけの記憶と、意識の交流の歴史をもつものか……。人間の種の歴史においても、木々は否定することなく見守って来たに違いありません！

こうした古木にも私たちは出会いに出かけています。最近では琵琶湖の湖東地域を活性化しました。山肌にはまだ雪が残る鈴鹿山地の奥の多賀大社のご神木は、その地にたどり着くまでの体験も含めて荘厳で感動的でした。

また、東近江市では聖徳太子ゆかりの古木を祀る神社などで春祭りが執り行われており、清純なエネルギーの境内が印象的でした。ダマヌールは多様性を尊重しています。種の違いを尊重し、さまざまな種と協同するための一つのプロジェクトとして「木の意識の活性化」はとても重要なものなのです。

ニュースレター「POPOLO」を読んでくださった皆さまの中で「木の活性化」にご興味を持たれた方があればお知らせください。ダマヌールのメンバーの木の活性化に参加することができます。特に、皆さんのお住いの地域が植物のネットワークに「参加する」環境ができていないか(既にその地域が活性化されているかどうか……)知りたい方はお尋ねください。まだのようであれば、ご一緒に活性化の作業をしませんか！ (Gallo)

*ダマヌール日本では、「樹齢300年以上」の木を「古木」としています。

ヒーラーからの便り

ダマヌール日本支援ネットワーク・イピアルのアヴェルラです。2003年より名古屋のヒーリングルーム「イピアル」で、昨年からは名古屋市内と岐阜県養老町の2つの統合医療のクリニックでもプラノセラピーを行っています。

ヒーリングルームに来る方々は、おおむね健康な人です。病気ではないもののどこかに不調を感じていたり、人間関係や仕事、結婚、また大切な人の死などで悩んでいたり、傷ついていた、生きる目的や価値が見えにくくなっていることもあります。また、特に問題がなくても、心身の健康の維持のためや、変わりたい、成長したいと感じてプラノセラピーを受ける人もいらっしゃいます。一方、統合医療のクリニックの場合は病気や何らかの不調がある方々ですが、その背景に悩みがあったり生きる目的が見えにくくなっていることも多く、そういう点ではヒーリングルームを訪れる人とあまり変わりはありません。

プラノセラピーは他のどんな治療法やセラピーとも併用でき、それらがより効果的に作用するように働きます。実際、医師が驚くほど手術後の回復が早かったという事例はいくつもありますし、ダマヌール独自のセルフ学の研究から生まれたスティロセルフを用いたヒーリングや、鍼灸の施術も、プラノセラピーを受けた後の方が反応が良いというフィードバックをいただいています。統合医療のクリニックでは、医師や他のセラピストさんと連携して患者さんと向き合うという、これまでにない経験をさせていただいています。そのなかでプラナーナの働きについてもさらに検証を進めていきたいと思っています。

プラノセラピーを受けて、スッキリした、軽くなった、元気になった、心が穏やかになったというような変化を自分で感じたり、他の人からも、明るい印象になった、表情が豊かになったなどと言われることは少なくありません。

こういった変化はエネルギーが消費されるにつれて薄れていくものですが、回数を重ねていくうちに確かな変化を自覚できるようになるでしょう。

あなたが望む方向に人生を変化させることができたなら素晴らしいと思いませんか？ あなたらしくいきいきと幸せに生きるために、プラノセラピーをお勧めします。(アヴェルラ)

ダマヌールのプラノセラピーとは

プラノセラピーは肉体・オーラ・魂のすべてによい影響を及ぼします。起源的な生命のエネルギー“プラナーナ”がオーラを介して中継され、特にバランスの崩れている部分に集中して流れて、全体の調和をもたらします。

プラノセラピーを継続して受けることで、心身のバランスを取り戻し、より健康に調和的に生きることができるようになります。また、癒しのプロセスを促進するためのシンクロニシティを引き寄せて、人生にポジティブな変化を生み出します。

なお、プラノセラピーのヒーラーは、自身に蓄積するネガティブなエネルギーを定期的に放出しているため、常にニュートラルな状態で、安全でパワフルなヒーリングを提供しています。

アンティロペの2日間セミナー「セミ・テンポラーレ I」

～ 過去の記憶を書き換え、時間のタネによって

現在の人生と未来を変容させる、ダマヌール独自のマジックなテクノロジー ～

来る7月16日～17日、ダマヌールのアンティロペが来日し、8年ぶりに、2日間セミナー「セミ・テンポラーレ I ～過去の記憶を書き換え、時間のタネによって現在の人生と未来を変容させる、ダマヌールのマジックなテクノロジー～」を名古屋で実施いたします。

「セミ・テンポラーレ」はダマヌールの「時」に関する長年の研究から生まれました。ある小さな出来事に関する感情や記憶を書き換えることで、そこから派生する人生での対処行動や制限を越えて、魂がより自由に進化するための可能性を生み出すことが可能になります。過去の記憶を書き換え、人生と未来を変容させてみませんか？

8年前に行なわれたセミ・テンポラーレ I とセミ・テンポラーレ III の参加者の感想も合わせてご覧ください。
*感想文は6ページにあります。

アンティロペ・ヴェルベナ

ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。ダマヌールのスピリチュアルヒーラー。20年以上に渡り、ダマヌールのスピリチュアルヒーラーの学校の運営指導に関わる。セルフ学の研究によって実現したセルフティックなキャンピングを使ったヒーリングやセルフティックなペンデュラムの専門家であり、健康問題の解決に向けた的確なアドバイスには定評がある。また、時に関する研究者で、タイムトラベルやスペーストラベルの実験を行っていた時期は、自ら信じがたい体験も持つ。



◇「ホルスの道」を受講して

「ホルスの道」では、人間の起源・本質・可能性などを、宇宙規模の壮大なスケールのストーリーとして聞かせていただきました。フェニーチェさんの43年間に渡る貴重な蓄積の中から、選りすぐって伝えて下さったお話は、どれも一言も聞き逃したくない程興味深く、ときに圧倒され、ときに不思議な高揚感や切なさや懐かしさのようなものがこみ上げてきました。

参加者のどんな質問に対しても、フェニーチェさんは丁寧に答えて下さり、次々に展開していく知識のフラッシュに引き込まれていきました。メディテーションの語源はMedita(考える)+azione(行動する)だそうです。何にも依存せず、自分自身で考えて、行動する。心が求めていることを感じて(心からの望みをキャッチして)それに正直に誠実に向き合い、行動(体験・探究・創造)を重ねていく。やっぱり、これが人生に本当の喜びをもたらす基本だな～と感じました。そして、様々な違いを持つ仲間と協働することで、不可能と思えるような大きな夢も実現できる・・。

他の参加者の方々も、それぞれに深く感じるどころがあったようで、終了後も去りがたく、残った7名で輪になって体験を分かち合った場では、ことばを超えて伝わってくるものがありました。フェニーチェさんとジュゴンさんとダマヌール日本の方々、深く感謝いたします。(M)

◇「人生越えて」を受講して

私たちの今の文明は科学や技術が発展し、物があふれ生活が豊かになった。一方で、科学は死に対してきちんと向き合っていない。死んだらどうなる？ 私たちはどこから来てどこに帰るのか？ この人類普遍ともいえる問いに科学はおろか、学校、宗教、家庭にいたるまで教えてくれることはない。そして、死に対する無知が命を軽んじる傾向となり、殺人や虐待、自殺など痛ましい事件が横暴するに至っている。このような世の中で良い人生は本当に送れるのだろうか？

一方で私自身、現在病気を患っている。漠然とした不安や心配が募り、死というものを真剣に考えるきっかけとなった。同時に、生きる意味を模索するようになった。生きる意味を死という事実から考えよう、そう思ったのである。

講義では亡くなった人のサポート方法を習った。魂自身が落ち着きよりどころとなる。亡くなって不安や混乱状態にある魂もいるようで、死後の世界の無知や否定がそうさせているのかもしれない。もし身近で亡くなる人がいたら、ダマヌールの教えを実践したい。

死は終わりではなく、一つの通過点。精神的進化に向けてのいわば期末試験のようなもの。人は個に分かれ必要な経験をこの物質の宇宙で体験している最中なのだ。それは長い道のりであるが大変貴重であ

り、この次元でなければできない。死んだ後の私たちは、この物質での体験を終え物質でない世界へと帰っていく。その後、再びこの物質の次元へ戻ってくる。死は人類や宇宙の進化とともに密接に関係した壮大な話なのだろう。

精神的な進化は生きている間でしかできない。この世界は時間があり、限定だからこそ人生を大切に生きて、苦しいことも耐えることができるのではないだろうか。自分のため、人類のため、宇宙のため、いま生きている命を大切に価値のある死を向えたいものだ。(H)

◇「セミ・テンポラーレ」を受講して

2009年にセミ・テンポラーレIを、その数年後にセミ・テンポラーレIIIを受講しました。セミ・テンポラーレの講座では、「時の種」という手法を使い、自分の人生を自分の望む方向に意図的にガイドしていくための方法を学びました。

自分はこの人生をどんな人生として体験したいのか明確にすること、その方向性に沿って望みを実現していくために過去の記憶にアクセスし、必要な変化を起こすためのワークを行なうこと、自分の人生に責任を持ち、望む未来のために現在の体験に意図的に関与する姿勢を持つこと、など、大切な要素について、その原理とともに具体的なやり方を説明していただけるので、納得しながら確実に変化をもたらす方法を身につけることができました。

受講当時の望みは、そのいくつかはすでにならっており、かなっていないものの中には、今の自分からは魅力的でなくなっているものもあれば、継続して望み続けているものもありますが、全体として大きな流れを見ると、本来の望みに沿った方向に人生が流れて来ているのを確認できます。今、私の人生を取り巻く状況は、受講時の私の想像を超えた、全く想像もなかった環境となっていますが、この環境の中で体験している人生の質は、まさに受講時に望んでいた質の人生へとシフトしてきています。また、受講当時は、「自分の望みを実現させたい、そのために何とかしないと」というあせりのような気持ちが大きかったように記憶していますが、現在は、「望む方向に人生が進んでいくのは当たり前のこと」という落ち着いた感覚を自覚できます。今回振り返ってみて、継続して実行し続けることと定期的に評価し直すことの大切さを感じ、今の時点で改めて人生の方向性や望みについて整理し直すよい機会となりました。(K)

2017年7月には、8年ぶりに「セミ・テンポラーレ I ～過去の記憶を書き換え、時間のタネによって現在の人生と未来を変容させる、ダマヌール独自のマジックなテクノロジー～」を行ないます。ご参加をお待ちしています。

来日セミナースケジュール 2017年7月～10月

ダマヌール日本では、ダマヌール創立メンバーの一人フェニーチェの来日セミナーを行なっています。この度、ダマヌールからアンティロペも来日します。アンティロペのセミナーもご期待ください！

2017年7月～10月のセミナー

★【ダマヌールのヒーリング】

～マジックなヒーリングと
ホリスティック医療の統合～
in 横浜 ワンデイセミナー

開催日：8月6日(日)

時間：10:00～18:00

場所：銀太郎会館2階

交 JR「東神奈川駅」徒歩8分、
京浜急行「神奈川新町駅」徒歩3分

参加費：20,000円

お問合せ・お申込み：

yokohama@damanhur-japan.org

★【秘教的物理学 II】

in 神戸 2日間セミナー

開催日：9月23日(土)・24日(日)

時間：両日とも 10:00～18:00

場所：神戸市内

参加費：40,000円(事前振込39,000円)

★【ダウジング】 in 名古屋 2日間セミナー

開催日：10月8日(日)・9日(月祝)

時間：両日とも 10:00～18:00

場所：ウインクあいち

交 「名古屋駅」より東へ徒歩5分

参加費：40,000円(事前振込39,000円)

アンティロペ・ヴェルバナ 来日セミナー

★【自己ヒーリングと自然治癒】

in 名古屋 ミニ講演会

開催日：7月14日(金)

時間：18:30～20:30

場所：ウインクあいち 1008号室

交 「名古屋駅」より東へ徒歩5分

参加費：3,000円

★【セミ・テンポラーレ I】

申込締切 7/5

～過去の記憶を書き換え、
時間のタネによって
現在の人生と未来を変容させる
ダマヌール独自のマジックなテクノロジー～
in 名古屋 2日間セミナー

開催日：7月16日(日)・17日(月祝)

時間：両日とも 10:00～18:00

場所：ウインクあいち

16日1305号室 17日1004号室

交 「名古屋駅」より東へ徒歩5分

参加費：44,000(事前振込43,000円)

2017年7月～10月のミニ講演会

★【人間は3次元のマジックなデザイン】

in 名古屋 ミニ講演会

開催日：7月13日(木)

時間：18:30～20:30

場所：ウインクあいち 908号室

交 「名古屋駅」より東へ徒歩5分

参加費：3,000円

★【地球のシンクロニックライン】

in 神戸 ミニ講演会

開催日：9月22日(金)

時間：18:30～20:30

場所：神戸市内

参加費：3,000円

★【セルフ学】 in 名古屋 ミニ講演会

開催日：10月5日(木)

時間：18:30～20:30

場所：ウインクあいち 1109号室

交 「名古屋駅」より東へ徒歩5分

参加費：3,000円

●セミナー・ミニ講演会・プラノテラピー などに関するお問合せ先

ダマヌール日本神戸センター

0798-23-9161

damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp

ダマヌール日本支援ネットワーク イピアル

052-683-8233

jpjal@crux.ocn.ne.jp

* ダマヌールのヒーリング “プラノテラピー”
は「神戸センター」「イピアル」の他、以下の
ところでも受けられます。

飯田市 ガロ(大洞)

raven666.shizuka.o@gmail.com

清須市 ジベット(山田)

tamatamami325@gmail.com

大阪府 コーギー(前田)

corgi.dhjp@gmail.com

ダマヌール日本は、世界中にあるダマヌールの
センターの一つとして、持続可能な社会を実現
するための情報、より良く生きるための精神的な
知識やヒーリングを日本にもたすために1999
年より活動しています。

主な活動：セミナー開催 / 現地体験セミナー開催 /
セルフの紹介 / ダマヌールのヒーリング / ダマヌール
関連書籍やCDの紹介販売 / 木の活性化 / ダマヌール
を知る会開催 / セルフティックペインティングを観る会

ダマヌールのコミック「記憶のトランク」より(3)

ホルスセンターがオープンしました・・・

①

そんなわけで、オベルトをトリノのマジック界に招き入れたのはベネデット・ラバーニャだったんだ。素晴らしいプレゼンテーションで、彼はとても有名だったし尊敬されていたよ。

ええ、でもそのことが抗議や舌情を遠ざけたわけではなかったわ！ 古い「マジシャン」たちは、若造が古代の知識の種をあらゆる人々に手渡すことを認めなかった。でもオベルトは言ったの、これは新しい時代だって・・・

そうだよ！

短時間のうちに彼のまわりの人たちが：ジャンピエロ、エドアルド、エウジェーニオ、アンジェラ、アルド、リーナ、マリア・テレサ、アルマンドらのしっかりしたグループがつけられました。

僕たちは時間があればいつも会って、一緒に研究して、発見していることすべてに魅了されていたよ。

僕たちの人生には新しい味わいがあった、これは何かとてつもなく大きなこと・・・

・・・ほんの始まりにすぎないという感覚だった。

②

もし私たちの研究を続けたいのなら、私たちの場所を手に入れる必要がある、会いたい時に会えるように、そして、他の人たちに道を開くために。どう思う？

いいね！ 僕はチラシをつくって本屋に回りにいくことならできそう・・・

僕はコースの提案や新しい活動の企画ならできるけど・・・

それはいい考えね。そして、私たちがやっているすべてのことの結果を広めることができるわ。

私は会計と、新聞やメンバーへの発表はできるわ・・・

それに、新しい場所のように家具や備品を入れるとか、新しいメンバーをどうやって見つめるかはもう知ってるわ！

僕たちにも何かやることを残しておいてほしいね。

僕は、電子工学の研究室で、植物の思考に関する研究に専念したいな・・・

こうして、1975年9月1日、トリノのホルスセンターでカンファレンスやコースが始まりました。

僕たちに乾杯！

私たちに、そして人類と同盟を結んだ三千年紀の神、ホルスに

そう！地球の覚醒に！

③

あつと言つ間に僕たちの人生は変わったよ。こんなにたくさんやることがあったけれど、熱意を失うことは一度もなかった・・・

まだどれだけ刷らなきゃならないんだ？ ふう・・・ふう・・・

黙って回せよ、ジャンピエロ。知らない方がいいさ！

・・・毎月ニュースレターに取り組んだときも同様でした。

センターでは数多くのコースを行いました。例えば、催眠療法。

あなたの眠りは、ますます深くなる・・・ どんどん深くなる・・・

グーッス～

ふん、うまくいくもんか・・・

いいですよ。今、あなたは深い眠りについています。あなたの力は強くなります、2倍・・・7倍・・・8倍・・・

わー、見た？ 信じられない。

僕たちはイタリアの多くの町でセンターを開いたよ。オベルトは常に僕たちを実験するように、実験するように実際に駆り立てていた・・・

ダウンジング

あなたたちのペンデュラムは明快に答えを示すでしょう。

ふう～

そして、彼も、決して立ち止まることはなかったわ。

④

ホルスセンター、ごくふつうの火曜日の午後。

なんてこった、すごい人！ ちゃんとした上になれるかな？

そうね！ 昨日はエウジェーニオが車いすにひかれたのよ・・・

次の人、どうぞ！

なんと僕はフィレンツェから列車に乗ってここにやって来たんです、すごくいいって言われたので・・・このオベルトさん、トスカーナにも来てヒーリングしてくれるといいんだけど。

オベルトさんよ、オベルトという名前よ

ジュアニン、O×△*□+O・・・？

彼女は「ジョバンニ、あなたもヒーラーのところに来たの？」と言いました。

アルド！ エメッティ！ そんなところで突っ立って何してるの？ 上に来て手伝ってよ。

万歳！ 杖はもう要らん。治ったぞ！

ああ、良かったわね！ 毎晩深呼吸をするって、毎日プレーンで活性化した水を少し飲むことを忘れないでね！

今、いくわ！

あイタ！！

次の人、どうぞ・・・

次号、さまざまな研究が進められ・・・